

機械修理業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故 故の 型	労働者 規模
2017	1	16~ 17	工場でバックホーでバケットの移動している時、バケットと地面の間に左足が挟まり、左足親指骨折および左足擦傷を負った。	62	141	7	1~ 9
2017	1	15~ 16	格納庫において、航空機の胴体上部の改修工事を実施していた。作業中に、胴体上部を歩いて移動した際、傾斜部にて体勢が崩れたため、転倒を避けようとしたところ、右足を捻る形となり負傷した。	49	239	19	500 ~ 999
2017	1	9~ 10	当社工場内において、牛の給餌用のフィーダーバケット内のオーガスクリューを外す作業を行っていた。給餌口から両手を入れてオーガスクリューを引っ張ったところ、他方の穴からオーガスクリューが抜け落ち、その反動で支えていた方が跳ね上がり、穴の中で左手が強打されて負傷した。	59	169	6	10 ~ 29
2017	2	9~10	工事用エレベータ（以下EV）試運転のため、EVポストを昇り、天井ハッチを閉めたところEVが動き出し、外側からEV天井手摺に安全帯のフックを掛けていた被災者が上昇するEVに引っ張られた。安全帯が破損し、約4~5mの高さから墜落した。	47	214	1	30 ~ 49
2017	2	5~6	手摺り用階段から手足を滑らせて落下した。	68	413	1	—
2017	2	11~12	構内駐機ヤード内にてSK1000DセパレートATT油圧ホースへ飛散防止ガード装着作業2名にて実施中、機械本体から下りる際にクローラフレームのステップを利用して降りたが、足を踏み外してそのまま落下し腰を強打し救急車にて搬送された。	32	141	1	10 ~ 29

2017	2	10~11	工場内で、完成したドライバックに塗装作業中、近くにあった金属の箱に圧縮して収納されていた帯状のドライが弾性により溢れ出し、足に絡まったので除去しようとして、右足脹脛を負傷した。	19	521	8	~	10 29
2017	3	9~10	ビル屋上で消臭装置に消臭液を充填するため、手持ちにて消臭液20Lを運搬中に、先が見えずに鉄骨接続部の窪みに右足を取られ内反したため、右足小指、中足小指中足骨を骨折した。	57	417	19	~	10 29
2017	3	11~12	エレベーターの定期点検中、かご上に乗りガイドレールの清掃を行っていたところ、2階と3階中間付近にて右側ガイドローラーとガイドレールの上に左手人差し指全体を挟みこんで負傷した。不安全状態として、作業時に安全スイッチを遮断していなかったこと、低速上昇運転を自らおこないながら作業していたことが挙げられる。	36	214	7	~	100 299
2017	3	13~14	ホイールローダ点検作業中に、フレーム外装カバーを開けようと手を入れた時、痛みが有り、手を引き抜いたら左中指が切れていた。	45	225	8	~	10 29
2017	3	11~12	鉄道ダンプを点検完了後、リアタイヤに小石が多数挟まっている事を確認し、転車台を上げた状態でエンジンを始動し、ギアを1速に入れ、リアタイヤだけを作動させバールにて撤去を行う。完了後に摩擦車をリアタイヤを押し付けて作動確認をしたところ、異音がありそのまま摩擦車を格納せずにバールでの作業を開始した時、右手に激痛が有り咄嗟に左手を出した所で巻き込まれ負傷した。(左上腕部、右手首、左鎖骨、肋骨他各部骨折、皮膚圧迫、頭部切り傷、裂傷)	42	221	7	~	10 29
2017	4	11~12	散水用自家製ポンプのホースひび割れ交換の依頼を受け、修繕依頼者宅においてホース修繕箇所の確認中、第三者より漏電がある旨を告げられ、ポンプ本体の状態を確認していたところ、第三者が誤って電源を入れたため、Vベルトに左手指が巻き込まれ、示指、中指及び環指を負傷した。	62		7	~	10 29
			修理する機械の仮置用角材を確保するため雑木林で木を切り出そう					

2017	4	11~ 12	としていた作業中、倒した木が地面ではねかえり、左胸に当たり負傷した。	79	712	6	1~ 9
2017	4	11~ 12	工場内に於いて、場内の整理作業中、資機材を置いてある棚の上部（高さ4m、広さ4m×1.5m）に梯子を上ってワイヤーを取りに行った際、棚の上に置いてあった工具（電動ホイスト）に左足がつかずいて落下し、棚の下に置いてあったドラム缶に右足が当たり、ロールベンダー（鉄板加工機械）に顔面を打ち付け負傷した。	49	414	1	1~ 9
2017	4	10~ 11	産廃事業部ウッドホグ作業場において、ベルトコンベアを使用した廃材搬出作業中、ローラー部手前で木片が引っ掛かった為、簡単に動かせると思い手を伸ばしたところ、作業服の袖口がベルトに絡んで引っ張られ、ベルトコンベア支柱に激突した。	51	224	7	10 ~ 29
2017	4	9~ 10	倉庫内で荷物の整理中、吊荷の鉄板から滑り落ち、右足甲を負傷した。	69	416	1	1~ 9
2017	4	14~ 15	場内において、木製パレットの解体作業を電動丸ノコにて木抜を切断中、重機が近くに移動して来たのに驚き、添えていた左手、手袋が触れ巻き込まれ、左手小指球筋を裂傷した。その際、安全カバーを外して作業していた。	65	131	8	30 ~ 49
2017	5	17~ 18	第一突堤作業場において、作業終了前に仮置きしていた鋼製パイプ（800A長さ5m、重さ500kg）の滑り止めを直そうとして、上のパイプが荷崩れをして、転がって来て両脚（くるぶしの上から両大腿部）を挟まれた。後方にトラックが駐車していて逃げきれなかった。	53	521	7	10 ~ 29
2017	6	17~ 18	お客様店舗にて、パワーゲートを使用しカゴ車を降ろす時、ゲートより落下しそうになった、レンジなどの商品が収納されていたカゴ車を支えようとした際に、横転させ、左母趾末節骨骨折、左足関節捻挫、左腓腹筋損傷をした。	60	362	6	50 ~ 99
		16~	修理で入ってきた機械部品を台車に載せて搬入する際に、勢いをつ				1~

2017	6	17	けたまま機械部品を押さえていた手（指）を、その機械部品と作業台の角に挟んだ。搬送中の周囲の確認不足によるものである。	34	362	7	9
2017	6	14～15	機関室にて主機（エンジン）の組立復旧作業中、脚立に上がった状態で上半身をエンジンに寄り掛け、頭上の物（組立工具2～3kg）を取った時、胸に体重がかかり、左胸の肋骨にひびが入った。後日に診察を受けたところ、ひびが入っていることが判明した。	33	921	19	10～29
2017	6	16～17	当社工場内において、ラックをよじ登り、2段目に置いてある出庫品の防災シートを取り終え、ラックを下りようとした際に誤って転落し打ち負傷した。	55	414	1	10～29
2017	6	16～17	ダンプの荷台上で機械の積下ろし作業をしている時、暑さで頭がボーッとした状態があつて、意識がなくなり、地面に転倒した。	61	221	1	1～9
2017	6	14～15	機械置場にて建設機械の修理中に、トラックの荷台の上の工具箱を取ろうと荷台の上に登り、工具箱を持ったまま降りる際にバランスを崩し、後ろへ転倒し、腰を強打した。左腰と左脚に痛みと痺れを感じた。	25	221	1	10～29
2017	7	19～20	家電修理業務を終え、顧客宅から会社に戻る途中にトイレのため立ち寄ったコンビニにて、用足しが終わり出口に出たところ、緩い傾斜のところで右足をつまずきひねってしまい、骨折となったもの。	28	417	2	1～9
2017	7	13～14	客先構内において天井クレーンのタラップ手摺取付作業を被災者（作業長）含む4名で行っていた。手摺取付後のグラインダー仕上げ作業の電源をクレーンからとるよう被災者が指示し、他の作業員もトロリー近接作業でないため了承した。その後グラインダー作業に取りかかろうとした際、被災者が作業予定に無かったストッパー取付用ボルトの締め付け作業を開始した。被災者がトロリー点検用デッキとランウェイガーターに足をかけた状態（トロリーに近接した状態）でスパナを用いてボルトに接触した際に感電し被災した。	44	211	13	1～9
			エレベーター点検作業を行うため、手動でエレベーターを上昇させていた際エレベーターから枠外に右足かかるとが出ていることに気付				50

2017	7	14~15	かず近づいてきた2階ステージとエレベーター床面との間に右足かかとが挟まれ負傷した。	22	214	7	~ 99
2017	7	10~11	造船所内に上架中の船エンジン修理中、船内のはしご階段（3~4段）を物品を持って降りる際、階段を1段、踏みはずし、尻餅をついて背中を強打した。	72	371	1	~ 29
2017	7	18~19	支店事務所において、右手に小道具（約2.5kg）を持って歩行中にバランスを崩し、踏ん張った時に右肩に痛みを感じた。（業務上決定を待っての提出）	55	921	19	~ 999
2017	7	15~16	船舶の修理を依頼された顧客の船舶内にて船底下に潜り、両膝を曲げ屈んだ姿勢で頭の高さ程の高さにある魚群レーダーの配線の修理を行っていた。修理作業が完了し、立ち上がる際にそのまま真上に立ち上がると船底にて頭を打つ様な狭い作業環境であったため、開口部に向け、上体を左側に傾け、上体をねじりながら重心がかかった状態で立ち上がった際に左膝に「ゴキッ」という音がして左膝に激しい痛みを感じた。	28	921	19	~ 29
2017	7	11~12	航空機部品の分解時に、小物部品BOXを持って立ち上がろうとしたときに腰に痛みを感じ、その状態から動くことができなくなった。	23	921	19	~ 99
2017	7	10~11	負傷者は、熱処理真空炉のポンプオイルをエアコンのない屋内で交換していたところ、脱力と関節の痛みを感じたので中断し、休息をとった。その後、多少回復したので定時まで軽易な作業をし、帰宅後に受診し、熱中症と診断された。	39	715	90	~ 49
2017	7	14~15	機材センター整備棟内で、ボーリングマシンのスピンドル部シリンダーを回転させて横にし、パッキンを交換後、スピンドル部を垂直に戻そうとしたが固結していたため、被災者が工具を使用せずに右足で蹴ってスピンドルを回転させようとしたとき、足を踏み外し、ボーリングマシン架台と回転してきたスピンドル部シリンダー下部	65	142	7	1~ 9

			に右足を挟まれた。				
2017	7	14～ 15	整備センター工場内にて、4tダンプより荷物（リース品）を荷降ろし作業中、4tダンプ荷台（高さ約1.5m）から滑り落ち、体勢が悪いまま落下したため、着地の際に左膝に負荷がかかり、左側に倒れる様に転げ落ちた。	36	221	1	1～ 9
2017	7	16～ 17	被災者は、スクリュープレス周辺の洗浄の際、スクリュープレス供給機下を通過しようとしたとき、目測を誤り、頭部を強打し（ヘルメット着用）、その反動で転倒した。手に痺れがあったが、治ると思い我慢して帰宅したところ、両腕に痛みが出た。	51	159	3	100 ～ 299
2017	7	10～ 11	エレベーター定期点検時のピット作業終了後、ピットから出るため、同僚と合図しあい、エレベーターを自動運転で1Fから2Fへ動かしたとき、誤ってかごの下のワイヤーロープとシーブの間に右手指を挟まれて、中指・環指・小指を負傷した。	29	214	7	10 ～ 29
2017	7	17～ 18	浄水場の濃硫酸注入量増加の原因調査中に、注入ポンプ室外にある廃液ピットに誤って足を踏み入れ、濃硫酸に触れて熱傷を負った。	45	911	12	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	材料送り台（高さ1.4m、長さ2.3m、幅2.1m）の上部に、木材板（幅0.4m、厚み5cm）が両側に設置してあり、この足場を利用して溶接作業を行っていた。その際、足場板に火災予防のための水を散布していたため、滑って転落し、頭部と肩を強打した。	65	416	1	30 ～ 49
2017	9	9～ 10	ユニック車からの荷下ろし作業中、荷物の確認作業を行っていると、トラック荷台でバランスを崩し、地面に転落した。	42	221	1	1～ 9
2017	9	14～ 15	建物内において、自社が提供した高圧機の修理作業中、圧力ゲージが0になっている事を確認した上で、高圧機の配管を取り外す作業を行っていた。しかし、配管内にゴミが詰まっていたため、実際には配管内には圧力が残っており、配管を外した際、残圧によって激しく噴出した水を浴び、負傷した。	38	391	4	10 ～ 29

2017	9	18~ 19	客先と打ち合わせ終了後、旅館へ移動、旅館に到着して、駐車場に業務用車を駐車後、車後部よりカバンを取り出す為、後部ハッチを開きながら後ずさりした時、後方の溝に転落して受傷。（溝幅約3,000mm、溝深さ約2,000mm）	61	419	1	500 ~ 999
2017	9	8~9	N7M/Cの1階で、2階の作業場所に移動させるベアリングの入った木箱を運搬用のトラックに積み込む作業をしていたところ、トラック荷台の工具運搬台車とベアリングの入った木箱との間に左中指部分を骨折した。	26	611	7	1~ 9
2017	10	11~ 12	工場において、流量計のポンプ修理のため、濃硫酸を汲み上げるポンプケースの破損の確認をしていた。一時確認作業を中断して（流量計の側で）対応を協議していたところ、破損したポンプから濃硫酸が噴出し、それが顔・頭・左上腕部にかかり、受傷した。	46	321	12	1~ 9
2017	10	8~9	本社工場の入り口付近にて建築金物（フォームタイ100個入り30kg）を台車に積み込む作業をしていた際、弾みをつけて勢いよる持ち上げたところ、腰に一度に負担がかかり受傷した。	76	611	19	1~ 9
2017	10	7~8	ダンプカーのアオリを閉めようとした際に、アオリをロックする金具に右手親指第一関節を挟んでしまったもの。	33	221	7	1~ 9
2017	10	17~ 18	お客様宅へ冷蔵庫修理に訪問。不具合箇所を判定し、必要部品を車に取りに行く途中に被災。共有廊下から地面に降りる為に階段状になっているコンクリートブロック（50~60cm）を下りる際に足を踏み外した。受付伝票を見ながら小走りの状態であった。踏み外した衝撃と、右足に全体重がかかり痛みが生じた。（転倒はせず。）	43	413	2	1~ 9
2017	10	16~ 17	塗装室の一角にて、スプレーガン塗料缶に塗料を補充し立ち上がった際、ガンの部分と缶の部分が離れ、床面に落下したと同時に塗料が跳ね返り右眼に入る。	62	519	12	10 ~ 29
2017	10	10~ 11	社内のプラットホームにて、修理品を洗浄する洗浄機（100×70×80cm位）を移動の為パレット上に乗せようと、5人で持ち上げたところ、持ち上げる姿勢が運搬物に対して少し横向きで	62	921	19	10 ~

			あった為、背中の筋肉を傷めた。				29
2017	10	13～ 14	実験室で工具顕微鏡により、サンプルの寸法を測定中、その後方でフード設置のため、工事業者が、工事看板表示及び区画整理をせずに作業しており、高さ2mの位置にて不良箇所調整中にフードを落下させた。被災者は前方を見て作業をしていたため、フードの落下に気付かず、右肩から首にかけて強打した。（フード：900×750×H420ステンレス製約7.2kg）	25	391	4	100 ～ 299
2017	10	13～ 14	顧客事務所内にて複合機の整備中、1時間程中腰作業が続き、その体勢のまま機械部品を取ろうとしたところ、左腰から足先にかけて激痛があった。痛みから歩くことも座ることも出来ず、救急車を要請。	36	921	19	50 ～ 99
2017	11	16～ 17	整備工場内で、農機具アッパーロータリーとPTOジョイントの接続箇所のガタツキを調べるために左手でジョイントの軸部を持ち、右手で稼働箇所を押さえていたところ、誤って左手の軸を滑り落とし、反動で右手のジョイント部分が折れ曲がり右手指を挟まれて薬指の第一関節に骨折を負った。	62	169	7	1～ 9
2017	11	8～9	全身に衣装を装着し水域ショーに出演中、ステージ下での自由演技の中で、「足を少し曲げてから両足で約30cmジャンプをし、足を曲げながら着地をした」際、右足ふくらはぎに攣ったような痛みが発生した。振りを軽減し最後まで出演した。公演後に公演用船舶から、下船する時に右足ふくらはぎを攣り、足が着けられない状況となった。	31	391	4	1～ 9
2017	11	14～ 15	コンバインの洗車作業時、泥処理のため、沈殿槽の幅を広く開けていたので開口部となってしまう、誤って右足を落としてしまったため右足の脛を負傷してしまった。	35	418	1	1～ 9
2017	11	9～ 10	会社工場内において、他の従業員と2人で重さ100kg程度の機械の荷下ろし作業中、下ろす際に機械が傾いて倒れ、右足の指を負傷し	30	611	4	10 ～

			た。				29
2017	11	14~ 15	当社工場敷地内において、12t級油圧ショベルのエアコンベルト調整中に他の者が作業に気付かずエンジンを始動した為、ベルト調整中であつた者の右手小指・薬指をベルトとプーリーの間に挟んだ。	20	121	7	30 ~ 49
2017	12	10~11	工場空調機跡のステージ上にて、新規に設置した放送設備のスピーカーの写真を撮ろうとして、スピーカーの方を向きながら斜め右方向へ移動をされていて、ステージから足を踏み外し、ステージの骨組みであるH鋼に左側第10肋骨を当て骨折した。その骨折により腎臓を圧迫損した。	46	414	1	300 ~ 499
2017	12	16~17	カーリフト用モーターの交換時に、左足を滑らせ転倒し、その際に左肘および左脇腹を強く打撲した。	59	214	2	10 ~ 29
2017	12	8~9	本人は、本社工場内でトラック荷台に工具類を積み込み中に、工場内北西側に積み置きしていた鋼製パイプ（長さ4m・重量約30kg/本×20本）に歯止めで緩衝した際、パイプが荷崩れを起こして落下し、右足甲に当たり受傷した。	30	521	5	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html